

るとともに、世代間交流の促進ならびに生きがいづくりの深化を目指してまいります。

## 郷土を愛し、次代を担う人材の養成

**青少年教育の推進**につきましては、白老への愛着心とまちづくりへの主体性を醸成するための体験や研修を通して、しらおい子ども憲章推進委員のリーダー性を高めるほか、各中学校などと連携し、まちづくりに対する学びを町に政策提言する取り組みとして「子ども未来づくりプロジェクト事業」を推進してまいります。

また、昨年度ウポポイで初開催した「白老町二十歳を祝う会」は、対象となる若者たちにとって大変意義深い式典であることから、今年度も引き続きアイヌ民族文化財団のご協力のもと、継続に向けて準備を進めてまいります。

**文化財の保存・活用**につきましては、史跡白老仙台藩陣屋跡の価値を高め、さらなる利用促進を図るため「整備基本計画」の策定に取り組んでまいりました。しかし、これまでの発掘調査において十分な成果が得られず、整理や分析などに時間を要したことから、引き続き文化庁や有識者などの指導を得ながら、今年度

中の策定完了に尽力してまいります。

また、北海道遺産仙台藩白老元陣屋の魅力向上を図るため、陣屋が所在する道内14自治体と連携して、7月に資料館開館40周年記念の特別展およびシンポジウムを開催し、北海道における陣屋史研究の取り組みを推進してまいります。

## 学びや繋がりがづくりの拠点となる環境の整備

**社会教育施設・スポーツ施設の整備・活用**につきましては、町長部局と連携し、これから100年先も元気で健康やかに暮らせるまちを目指して、旧社台小学校校舎を活用した人づくり・健康づくり・生きがいづくりを推進する複合拠点の整備に向け準備を進めてまいります。

## 地域学校協働活動の推進

**地域連携による教育活動の推進**につきましては、中学校区における学校運営協議会との連携により、学校ニーズの掘り起こしを行うとともに、地域学校協働活動の普及啓発を図るための講演会開催などを通して、ボランティア登録の促進と活動機会の創出に努めてまいります。また、令和3年より北海道教育委員会

「北海道CLASSプロジェクト」推進校として地域学に取り組んできた白老東高校においては、3年間の研究指定を終えることから地元自治体として実践のさらなる深まりや広がり支援し、同校の魅力化と地域の活性化につなげてまいります。

**中学校部活動の地域移行**につきましては、令和5年度に策定した「白老町中学校部活動地域移行推進計画」に基づき、実施可能な競技や活動から順次、地域人材の活用を図るとともに、地域クラブ創設に向けた体制整備を進めながら、令和7年度の本格運用を目指してまいります。

これからも、将来にわたり子どもたちがスポーツや文化芸術に継続して親しむことができる環境の構築に努めてまいります。